

(後記2)

茨城県庁友の会設立50周年記念式典 来賓挨拶



小野寺 俊
茨城県副知事

本日ここに、茨城県庁友の会設立50周年記念式典が、大変盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

川俣(かわまた)会長をはじめ、茨城県庁友の会の皆様方におかれましては、日頃から、会員相互の親睦と福利厚生の上昇に努められておりますことに、深く敬意を表する次第です。

さて、新型コロナウイルスとの闘いは三年目を迎え、まさに長期戦の様相を呈しております。依然として予断を許さない状況が続いておりますが、今後とも県民の命と健康、そして暮らしを守ることを最優先に、刻々と変化する感染状況をしっかりと分析しながら必要な対策を講じ、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を目指してまいります。

また、最近の世界情勢を見てもみますと、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、米中対立の激化やロシアによるウクライナへの侵攻など、国際社会のパワーバランスは複雑化し、混迷を極めてきております。さらに、気候変動問題が世界的な課題となる中、カーボン

ニュートラルへの対応を次の成長の原動力とする潮流が加速し、エネルギー構造の転換をはじめ、社会経済全体の大変革が迫られております。

こうした中、我が国では、急速に進む人口減少という最大の課題に直面しており、生産年齢人口が大幅に減少する中、技術革新や人への投資などにより労働生産性を高めるとともに、外国人財も積極的に活用しながら、次の成長につなげていくことが不可避となっております。

時代はまさに、将来の予測が困難な「非連続の時代」を迎えています。この困難な時代を乗り越え、本県を更に大きく発展させるため、私たちには、変化や失敗を恐れず、新しいことに果敢に挑戦し、自ら未来を切り拓いていくことが求められています。

そのため、県としましては、「いばらきの底力」を活かしてきたこれまでの改革路線のもと、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の三つの基本姿勢を徹底し、チャレンジを加速してまいります。

茨城県庁友の会会員の皆様には、今後とも、これまでに培われた豊富なお経験を活かし、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現のため、様々な面でお力添えを下さいますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県庁友の会の益々のご発展と、本日もご参会の皆様方のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、挨拶といたします。